

平成29年度
学生募集要項
〔AO入試Ⅰ〕



弘 前 大 学

HIROSAKI UNIVERSITY

目 次

①	入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）	1
②	AO入試I 募集人員	9
③	出願期間	10
④	出願書類等	11
⑤	出願上の注意	12
⑥	学部ごとの出願要件・選抜方法等	14
	I. 人文社会科学部	14
	II. 教育学部	16
	III. 理工学部	18
	IV. 農学生命科学部	21
	V. 採点・評価基準, 合否判定基準	23
⑦	合格者の発表	25
⑧	入学手続	25
⑨	入学科及び授業料の免除・徴収猶予を希望される方へのお知らせ	27
⑩	学生寮への入寮を希望される方へのお知らせ	28
⑪	合格しなかった場合の取扱い	29
⑫	入学試験個人成績の開示	29
⑬	個人情報の取扱いについて	30

●AO入試I 日程表

事 項	日 時	
出 願 期 間	平成28年10月7日(金)から 平成28年10月14日(金)まで〔午後5時必着〕	理工学部
	平成28年10月25日(火)から 平成28年10月31日(月)まで〔午後5時必着〕	人文社会科学部, 教育学部 農学生命科学部
試 験 実 施 日	平成28年11月19日(土)	人文社会科学部, 教育学部
	平成28年11月20日(日)	教育学部, 理工学部 農学生命科学部
合格者発表日	平成28年11月28日(月) 午後2時(予定)	
入学手続日	平成29年2月14日(火) 午前9時～午後4時	

東日本大震災により被災した弘前大学入学志願者の 入学検定料の免除について

平成28年7月
弘前大学

東日本大震災により、被害に遭われた方々には、心よりお見舞い申し上げます。
弘前大学では、被災者の経済的負担を軽減し、受験生の進学機会の確保を図るために、今年度を実施する入学者選抜試験について、次のとおり入学検定料免除の特別措置を講じます。

入学検定料の免除を希望される方は、申請前に必ず学務部入試課までご連絡ください。

1. 免除対象となる入学者選抜試験

平成28年度に実施する学部入試（編入学及び私費外国人留学生入試を除く）

平成28年度に実施する大学院入試（私費外国人留学生入試を除く）

2. 対象者

免除対象となる入学者選抜試験の志願者で、平成23年3月11日に発生した東日本大震災により被災し、次のいずれかに該当することの証明が得られる方

- (1) 学資負担者が、次の災害救助法適用地域において被災し、家屋等の全壊、大規模半壊、半壊、流失の被害を受けた方
岩手県、宮城県、福島県の全市町村
青森県、茨城県、栃木県、千葉県の災害救助法適用市町村
- (2) 学資負担者が震災により死亡または行方不明の方
- (3) 居住地が福島第一原子力発電所の事故により、帰還困難地域、居住制限区域又は避難指示解除準備区域に指定された方

3. 申請の方法

事前に学務部入試課に電話等で問合せください。免除対象と判断された方は、所定の申請書類を出願書類とともに提出してください。

なお、この申請を行う場合は、出願時に「入学検定料」を払い込まないでください。

諸事情により出願時までに証明書類が準備できない場合は、一旦入学検定料を払い込んで通常の出願を行い、後日証明書類が準備できた時点で申請書類を提出してください。許可となった場合は、払い込まれた入学検定料を返還いたします。

4. 申請書類

- (1) 「入学検定料免除申請書」
(本学ホームページからダウンロード (<http://www.hirosaki-u.ac.jp/~nyu/>))
- (2) 証明書類
 - ① 「り災証明書」(コピー可) (上記2の(1)に該当する方)
 - ② 「死亡または行方不明を証明する書類」(コピー可) (上記2の(2)に該当する方)
 - ③ 「被災証明書」(コピー可) (上記2の(3)に該当する方)

5. 許可または不許可の通知について

- (1) 許可者には、受験票を送付することで決定通知書に代えさせていただきます。(一旦、通常の出願を行った後の申請の場合は、入学検定料の「払戻請求書」を送付することで決定通知書に代えさせていただきます。)
- (2) 不許可者には、別途通知いたします。
この場合は、直ちに入学検定料を払い込んでください。(受験票の送付は、払い込みが確認された後となります。)

6. その他

- (1) 既に払い込まれた入学検定料の返還について、学務部入試課への連絡・申請が著しく遅れた場合は、申請に応じられなくなることがあります。(平成28年度中に入学検定料免除の許可が出せることが必要)
- (2) 入学検定料の免除を許可された方が、免除を受けるために虚偽の申請をした場合は、許可の日にさかのぼってこれを取り消します。その場合は、直ちに入学検定料を払い込んでください。
- (3) 入学料及び授業料の減免等については、本学の「入学料及び授業料の免除・徴収猶予制度」がありますので、別途申請が必要になります。
- (4) 本件について、不明の点がありましたら、下記にお問合せください。

(本件に関する書類提出先・問合せ先)

〒036-8560 弘前市文京町1番地

弘前大学学務部入試課

【学部入試担当】 TEL: 0172 (39) 3122

【大学院入試担当】 TEL: 0172 (39) 3973

FAX: 0172 (39) 3125

弘前大学ゆめ応援プロジェクト募集要項

(平成29年度入学者)

1. 目的

本プロジェクトは、自分の夢を叶えるため本学への入学を希望しているにも関わらず、経済的理由により進学をあきらめなければならない環境にある学業優秀な者に対して、入学前に経済的負担を軽減することを確約し、優秀な学生の本学への進学を応援することを目的とします。

2. 内容

入学料 (282,000円) 全額免除

3. 採用者数

24名程度

AO入試 I・II 12名程度

一般入試 (前期日程) 12名程度

4. 申請資格

次の①及び②を満たし、本学のAO入試 I・II又は一般入試 (前期日程) に出願を予定し、合格した場合は入学を確約する者

- ① 平成29年3月に高等学校又は中等教育学校 (以下「高等学校等」という。) を卒業見込みでかつ高等学校等調査書の全体の評定平均値が4.0以上の者
- ② 家庭の年間総所得金額が、弘前大学における授業料免除基準以下の者

5. 申請書類受付期間及び結果通知等

	AO入試 I・II 受験者	一般入試 (前期日程) 受験者
配付開始	平成28年8月8日(月) オープンキャンパス	平成28年10月22日(土) ミニオープンキャンパス
受付期間	平成28年9月1日(木)～9月30日(金)	平成28年11月1日(火)～11月30日(水)
提出期限	平成28年9月30日(金) 必着厳守	平成28年11月30日(水) 必着厳守
結果通知	平成28年10月下旬発送	平成28年12月中旬発送

※ 申請書類は配付開始時に本学ホームページにも掲載します。所定の様式等をダウンロードし、必要書類を添付の上、期限までに提出願います。

※ 申請結果は郵送いたします。

6. 候補内定者とならなかった場合

「弘前大学ゆめ応援プロジェクト」の申請者で候補内定者とならなかった場合も、通常の「入学料免除・徴収猶予」申請が可能です。ただし、通常の入学料免除には、申請資格の特別な要件 (入学前1年以内の家計支持者の死亡、風水害等の被災) があります。選考の結果、免除許可となっても、予算の関係により半額免除となります。なお、入学料徴収猶予は、特別な要件がなくても申請可能です。

申請書類は、各選抜の学生募集要項を参照し、郵送等で請求してください。

7. 授業料免除

入学する年度の授業料免除については、通常の授業料免除申請をしていただき、選考の上、決定します。

授業料免除の決定時期は、前期が平成29年7月上旬、後期が平成29年12月上旬となります。ゆめ応援プロジェクト申請時と家計状況に大幅な変動がない場合は、全額免除又は半額免除となる予定です。

申請書類は、各選抜の学生募集要項を参照し、郵送等で請求してください。

8. 問合せ先

弘前大学学務部学生課 ゆめ応援プロジェクト担当

TEL : 0172 (39) 3117 (平日9時~17時)

本プロジェクトの申請及び選考（採用可否等）は、弘前大学入学試験の合否に一切影響しません。

① 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

－世界に発信し、地域と共に創造する弘前大学－

弘前大学は、その理念・目標に共感するとともに、「学位授与の方針」を十分に理解し、「教育課程編成・実施の方針」に基づいた教育を受けることが可能な学力・能力を備えた、次のような意欲ある学生を求めます。

- 知的好奇心が旺盛で、教養から専門まで幅広い知識を習得しようとする人
- 自主的・主体的に行動し、知的活動や社会生活において必要となる汎用的技能を身に付けようとする人
- 社会の発展に貢献する態度・志向性を身に付けようとする人
- 社会の課題探究や問題解決に取り組もうとする人

各学部のアドミッション・ポリシー

人文社会科学部

1 概要

多元的な文化理解と多様性認識、地域文化を含む自国の文化の創造力と発信力の養成に力を入れつつ、地域課題を含む現実の課題の解決に重点をおいた実践型教育を提供します。

このような教育を通じて、地域社会の活性化に寄与する人材の育成を目指します。

2 求める学生像

- 多元的な文化理解に立って多様性認識を養い、地域の伝統文化を含む自国の文化の価値を理解し、新たな文化を創造・発信することに強い関心をもつ人
- 地域の諸課題をはじめ、現代社会が直面するさまざまな課題に目を向け、その解決への積極的な取り組みをとおして、社会に貢献することに強い関心をもつ人

3 入学前に身に付けておいてほしいこと

弘前大学人文社会科学部には、文化創生課程・社会経営課程の二課程があります。いずれの課程で学ぶ場合も、高等学校の学習内容はとても重要です。人文社会科学分野の学問の基礎をなすものとして、国語（現代国語、古文、漢文、国語表現など）や外国語（英語のほか、ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語など）の勉強によって養われるコミュニケーション能力、数学や情報の勉強によって養われる数学的思考力、数的処理能力や情報処理能力、社会（世界史、日本史、地理、現代社会、倫理、政経、倫理・政経など）の勉強によって養われる歴史・文化や社会に関する基礎的な知識を身に付けておく必要があります。

1年次には、英語で実施する講義もあります。その備えとして、英語などの外国語の検定資格（実用英語技能検定2級など）に挑戦し、外国語の運用能力を鍛えておいてください。

4 入学者選抜の基本方針

(1) 前期日程

高等学校修了レベルの学習の達成度を評価するという観点から、大学入試センター試験の結果、個別学力検査の結果、及び調査書の内容を総合して選抜します。

(2) 後期日程

高等学校修了レベルの学習の成果を幅広く応用・展開し、さまざまな課題を多面的に把握し解決するための資質・能力を評価するという観点から、大学入試センター試験の結果、個別学力検査（小論文）の結果、及び調査書の内容を総合して選抜します。

(3) A O入試 I

人文社会科学部のアドミッション・ポリシーを正しく理解したうえで、本学部の教育カリキュラムにもとづく主体的な学修を進めていくための資質・能力、適性、意欲・関心を評価するという観点から、個人面接、小論文、学習計画書・調査書の採点結果を総合して選抜します。

【文化創生課程】

1 概要

人文科学分野の専門的知識・技能を学びつつ、国内外の歴史・文化を理解する力、地域の伝統文化を含む自国の文化的価値を創造し、発信する力を身に付けます。以上の学習をとおして、地域の文化振興や地域社会のグローバル化の推進等に寄与する人材の育成を目指します。

2 求める学生像

- 国内外の有形・無形の文化（埋蔵文化財、美術工芸品、民俗・宗教、思想文学など）について正しく理解し、それらを人類共通の文化遺産として次世代に伝えていくことに強い関心をもつ人
- 英語をはじめとする外国語の運用能力を身に付け、国内外の歴史・文化を正しく理解し、世界情勢を的確に見極めながら、地域社会のグローバル化の推進に寄与することに強い関心をもつ人

【社会経営課程】

1 概要

社会科学分野の専門的知識・技能を学びつつ、現実の課題解決に役立つ実践力を身に付けます。以上の学習をとおして、自治体等の政策立案、民間企業の経営戦略、地域住民との協働などの場で課題発見や課題解決のための力を主体的に発揮し、社会に寄与する人材の育成を目指します。

2 求める学生像

- 経済学と法学の専門知識を学び、それを実践的に活用する能力を身に付け、自治体や法律関係の機関の専門家として活躍することに強い関心をもつ人
- 経営学と会計学の専門知識を学び、企業が直面する諸課題を解決する実践力を身に付け、地域産業の育成と発展に貢献することに強い関心をもつ人
- 社会学の理論と方法、統計・情報処理の技能を身に付け、現代の地域社会が直面する諸課題を多面的に把握し、その解決に寄与することに強い関心をもつ人

教育学部

1 概要

教育学部では、子どもの発育発達や能力に応じた主体的な学びを支援することのできる専門的知識・技能と実践的指導力を兼ね備え、学校現場や学校を取り巻く地域で活躍できる教員を養成することを目的としています。

2 求める学生像

- 子どもに強い興味と関心があり、将来教員として地域の教育に貢献したいという明確な目的意識を持っている人
- 教育について幅広く、かつ深く学び、探究する意欲がある人

- 何事にも意欲的に、かつ他人と協力して取り組むことができる社会性がある人
- 教育の専門家として必要な能力を身に付けるための十分な基礎学力を有する人

3 入学者選抜の基本方針

(1) 前期日程・後期日程

大学入試センター試験，個別学力検査，実技や面接を含む総合的な検査及び調査書の結果を総合して選抜します。大学入試センター試験による基礎学力の評価とともに，個別学力検査を課すことによって，総合的学力の優れた人の選抜を目指しています。

(2) AO入試 I

出願書類（調査書，自己PR書及び活動報告書），各専門分野に関する集団討論及び個人面接により，基礎学力や各専門分野に対する目的，適性，意欲，関心を総合的に評価して選抜します。

【学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻】

学校での教科指導・道徳指導・特別活動指導・総合的な学習の時間の指導，生徒指導・特別支援等を担当する教員として，必要な資質や能力を身に付け，深めていくことを目的とします。また，複雑化・多様化する教育課題や生活に密着した地域特有の教育課題に対応できる実践的指導力を備えた教員養成を目指します。

①概要

特別支援教育に関する深い知識と技術を有し，特別支援学校や特別支援学級，通常学級など特別支援教育の現場で活躍することができる教員を養成します。

②求める学生像

- 将来，特別支援教育の現場などにおいて，障害のある児童生徒の自立に向けた活動に関わることを強く希望する人
- 「障害」に関して，教育や福祉，心理，病理など多方面から学び，深めていく意欲のある人

③入学前に身に付けておいてほしいこと

- 文系・理系に偏らず幅広く全教科・科目を学習しておくこと
- ボランティア活動など幅広く経験しておくこと

【養護教諭養成課程】

①概要

子どもたちの心身の健康を守り育てていく教員として，必要な資質や能力を身に付け，深めていくことを目的としています。

養護教諭は，児童・生徒，教職員他，様々な人々とコミュニケーションをとりながら，科学的思考に基づき，子ども自らが心身の健康問題を解決していけるよう支援していきます。

②求める学生像

専門職としての社会的責任を自覚し，その活動に必要な研究研修を自ら進んで行うことのできる養護教諭の養成を目指します。そこで，次のような学生を求めます。

- 子どもの健康問題に高い関心をもつ人
- 子どもたちに対し，生涯を通して生命を大切にし，自らの健康を守り高めていける力を身に付けさせたいと願う人
- 養護教諭になりたいという強い意志を持ち，学習・研究意欲が高く，努力を惜しまない人

③入学前に身に付けておいてほしいこと

- 文系・理系に偏らず幅広く全教科・科目を学習しておくこと

理 工 学 部

1 概要

基礎と応用，理学と工学の調和した全国的にもユニークな理工融合学部です。きめ細かな専門基礎教育と先端的な研究環境のもと，21世紀の高度情報化社会及び先端技術社会を担う個性豊かで独創性に富んだ理工系学生の育成を目標にしています。

2 求める学生像

理工学部での学習を進める上で必要不可欠な，高校で学ぶ理科や数学等に関する基礎学力や資質を有し，激しく変化する現代社会に対応できる幅広い視野を持った技術者・研究者を目指す人，科学・技術の発展への貢献に意欲と熱意を持った人

3 入学者選抜の基本方針

前期日程・後期日程では基礎学力及び総合的学力を評価するために，また，AO入試Iでは理工学部での勉学に関する意欲，資質等を評価するために，次のような方法で入学者選抜を行います。

(1) 前期日程・後期日程

大学入試センター試験，個別学力検査及び調査書の結果を総合して選抜します。

(2) AO入試I

第1次選抜（出願書類による選抜）及び第2次選抜（講義あるいは実験及びその内容に関するレポート並びに個人面接（基礎学力に関する試問を含む。))の得点による結果を総合して選抜します。

【数物科学科】

1 概要

数学および物理学は，自然現象や社会現象の解明に必要な論理や法則を学ぶ学問です。入学後1年間の数学と物理学の教育を基礎として，2年次より3つのコース別に専門教育を行います。数理科学コースにおいては，代数学，幾何学，解析学，応用数学の知識を活用して問題を数理的に解決する能力を備えた人材を育成します。応用計算科学コースにおいては，高度情報化社会の現場において生じる諸問題を数理計算の方法を用いて解決できる人材を育てます。物質宇宙物理学コースにおいては，物質材料と宇宙に関する物理学を学ぶ事を通して，将来技術革新を起こしていくことができる技術者・研究者を育成します。

2 求める学生像

- （数学型）数理科学へ強い興味を抱き探究心が盛んであり，豊かな数学的知識と自在な数理的応用力をもって世に出ようと欲している人
- （理科型）電子や陽子等の極微粒子のミクロな世界から広大な宇宙の世界までを統一的に支配している自然の基本原理を探求する物理学の最前線に興味を持つ人，および先端物理学の社会への還元を目指した工学への応用に意欲を持つ人

3 入学前に身に付けておいてほしいこと

- （数学型）高校の教科全般の基礎学力をもち，高校数学については概念や法則を良く理解しているうえに推論と計算の確かな力をもっていること
- （理科型）高校の教科全般の基礎学力をベースに，理数系科目の内容をよく理解していること

【物質創成化学科】

1 概要

有機化学，無機化学，分析化学及び物理化学の学習に重点を置き，基礎学力を有した人材を育成します。これら基礎化学に加えて，二つの選択科目群（「有機・無機材料創成化学領域」及び「エネルギー・機能創成化学領域」）を設定し，各学生の専門性ならびに将来ビジョンの養成にも配慮したカリキュラムに沿って人材を育成します。そして，機能性物質の開発，環境調和を指向した機能性材料，リサイクル技術，省エネルギー・省資源技術の研究開発等に対応できる創造性豊かな化学技術者・研究者の育成を目指します。

2 求める学生像

- 材料合成力に加えて，物質の構造や反応の仕組みを物質の機能と結び付けて探求できる素養を身に付けた研究者を目指している人
- 暮らしを豊かにする新機能物質，環境調和を指向した材料，生体機能を模倣した材料等の開発，エネルギー・環境問題の解決につながる化学技術の開発等に対応できる創造性豊かな研究者・技術者を目指している人

3 入学前に身に付けておいてほしいこと

高校の自然系基礎科目（特に化学）の内容を習得し，論理的思考力及び文章力を備えていること

【地球環境防災学科】

1 概要

地球とそれを取り巻く領域を物理や化学を基礎として精密に扱うとともに，地球全体を一連のシステムと捉えた教育・研究を行います。それにより，地域に密着した視点とグローバルな観点から，地球環境問題や自然災害など今後の人類が直面する課題に対応できる人材を育成します。

2 求める学生像

- 宇宙空間，大気・水圏，地質・岩石，地震・火山等を対象とした地球科学に興味を持ち学習意欲がある人
- 地球環境問題や自然災害などについて，地球に関する科学や工学を通して問題の解決や災害の防止を目指す人

3 入学前に身に付けておいてほしいこと

自然科学の基礎的な学力を有すること

【電子情報工学科】

1 概要

電子工学，情報工学，情報科学，並びにそれらの融合領域における基礎から応用までの学識を身に付け，電子情報分野の技術革新を支える能力と教養を有し，高度情報化社会の様々な分野においてハードウェアとソフトウェアの両面から柔軟に対応できる専門的な技術者を育成することを目標としています。

2 求める学生像

先端IT分野の次世代技術を身に付けて様々な分野においてその成果を活用していく意欲を持った人

3 入学前に身に付けておいてほしいこと

エレクトロニクス，情報，通信，コンピュータ，マルチメディアを融合した新しい技術やシステムの基礎となる理数系の科目を履修または総合的な基礎学力を有すること

【機械科学科】

1 概要

理学の基礎をしっかりと身に付け、機械工学の基礎を基盤とし、知能システムコースでは、知能化機械技術者として国際的に活躍できる多様で柔軟な思考力を備えた創造性に富む人材を、医用システムコースでは、新産業分野として創出が加速される医用システム産業に対応できる専門性の高い人材を育成します。

2 求める学生像

医用・福祉や環境エネルギー、航空宇宙・輸送機械、ロボット、ナノテクノロジー等の科学技術分野で要求される「未来型機械システム」の設計・開発を行う技術者・研究者を目指している人

3 入学前に身に付けておいてほしいこと

高校の教科全般の基礎学力をもち、特に理数系学科の内容をよく理解していること

【自然エネルギー学科】

1 概要

自然エネルギーは、理学・工学などの自然科学から人文社会科学、経済学等の様々な分野と関係するため、エネルギーに関する諸問題を俯瞰的視点から検討できる人材が必要です。そのために、エネルギー資源からエネルギー変換・輸送・貯蔵・利用、そしてエネルギーシステムに関する分野をベース知識とし、グローバルな視点からエネルギー問題を総合的視点で捉えて次世代エネルギー分野へと展開できる人材を育成します。

2 求める学生像

地域に豊富に存在する自然エネルギー源を実際に利用することに熱意を持ち、そのために必要な自然科学的知識および社会科学的知識の取得に意欲を持つ人。

3 入学前に身に付けておいてほしいこと

高等学校の理科および社会に関する基礎知識を身に付けること

農学生命科学部

1 概要

農学と生命科学分野の基礎的・専門的な知識を身に付けた人材、課題探求・問題解決能力を備えた専門技術者・研究者として活躍できる人材及び豊かな人間性を身に付け、創造性と主体性をもって地域はもとより国際的にも活躍できる人材の育成を目指しています。

2 求める学生像

- 農学ならびに生命科学の各分野において、基礎から応用までの幅広い学問を身に付け、地域社会の発展に貢献する意欲のある人
- 国際社会において活躍する意欲と熱意のある人

3 入学前に身に付けておいてほしいこと

高等学校で履修する科目全般についての基礎を十分理解していること

4 入学者選抜の基本方針

(1) 前期日程・後期日程

大学入試センター試験、個別学力検査及び調査書の結果を総合して選抜します。大学入試センター試験による基礎学力の評価とともに、個別学力検査を課すことによって、総合的学力の優れた人の選抜を目指しています。

(2) AO入試 I

小論文、面接、自己PR書及び調査書の結果を総合して選抜します。小論文の内容の評価と面接における質疑応答では、農学生命科学部および各学科の「求める学生像」に適している人の選抜を目指しています。

【生物学科】

1 概要

遺伝・発生・生理・代謝・環境応答など根本的な生命現象に関する理解と、生物の多様性・適応戦略・進化のメカニズムや生態学、環境科学に関する知識および世界自然遺産白神山地や北日本沿岸水域の豊かな自然に関わるフィールド教育によって、生物学の基礎から専門分野への展開を可能とし、生物の基礎的現象の解明と生物科学の発展に寄与できる人材、および生物生態の動的・複合的理解、山-川-海をつなぐ自然環境の保全、水産資源の増殖に資する実際の・応用的視野を持つ人材の育成を目指します。

2 求める学生像

- 動植物の生命現象の解析を通じて、生物の基礎的現象のしくみの解明に意欲のある人
- 生物の生態や分類に興味を持ち、生物が持つ多様性、適応戦略、進化のメカニズムの解明に意欲のある人

3 入学前に身に付けておいてほしいこと

生物、化学及び英語を特に力を入れて学んでくること

【分子生命科学科】

1 概要

バイオテクノロジーの最先端技術に加えて物理化学や情報科学等の周辺境界領域の学問分野を取り入れ、未知の生命現象を含む様々な生命現象を細胞レベル、分子レベル、物質レベルで解明することができる人材、並びに生化学・分子生物学を中心に微生物や酵素関連の教育及び遺伝子工学・糖鎖工学などのバイオテクノロジーの最先端を教育し、生命現象の解明を通して生物の持つ潜在能力を応用に活かし、バイオマス等の次世代の有効資源利用・資源開発に貢献する人材の育成を目指します。

2 求める学生像

- 生命現象の不思議や未知の生物機能について、細胞レベル・遺伝子レベル・分子レベル・原子レベルで解明していく意欲のある人
- 生物のもつ潜在能力を掘り起こすことを通じて、次世代のバイオテクノロジーを創り出していく意欲のある人

3 入学前に身に付けておいてほしいこと

特に理科と英語を十分に理解しておくこと

【食料資源学科】

1 概要

①バイオテクノロジーによる食料資源の開発や改良、②環境に調和した食料資源の生産に関わる技術の開発、③食品の機能性評価や食の安全性に関わる技術の開発、において社会で活躍できる幅広い知識と専門技術を身に付けた人材の育成を目指します。

2 求める学生像

- 作物バイオテクノロジー及び微生物バイオテクノロジーによる食料資源の開発や改良に意欲のある人

- 微生物・昆虫・土壌と、食料資源である作物との関係を解明し、作物生産の環境的課題解決に意欲のある人
- 食品の製造・加工技術の改良や開発、及び食品成分・安全性・健康機能の評価による食料資源の高付加価値化に意欲のある人

3 入学前に身に付けておいてほしいこと
理科特に生物と化学、及び英語の学力

【国際園芸農学科】

1 概要

国際化が進む世界の中で地域の農業と暮らしのよりよい未来を目指して、果樹学から作物学・蔬菜学・花弁学・畜産学及び生産機械学までの農業生産領域と食と農業をめぐる社会的経済的課題を総合的・実学的に把握して行動できる人材並びに農業生産の効率化のための農業経営や国内外の農畜産物の流通機構の改善に関する実際の・応用的な素養と能力を有する人材の育成を目標とします。

2 求める学生像

- 自然と調和する農業生産のあり方や暮らしを豊かにする農産物の開発と利用に意欲のある人
- 経済システムの立場から、農業をめぐる世界と地域の諸問題の解決に意欲のある人

3 入学前に身に付けておいてほしいこと

- 理科全般の基礎知識を身に付け、外国語を学ぶ意欲を有していること
- 通常科目の勉強と併せて、世界と身近な地域の農業・食料について幅広い関心を持ち、それらに関して社会的に常識的な範囲での知識を習得していること

【地域環境工学科】

1 概要

農業土木や計画から生態系や社会制度まで多方面の分野に関わる知識・技術を習得することにより、農村・山間地の環境整備・保全に関わる総合的な知識を有する人材並びに水・土・農業土木関連施設についての専門的知識及びそれらのシステムや計画に関する知識の習得を通じて、技術者の社会的責任を認識し、地域の発展に貢献できる農業土木技術者の育成を目指します。

2 求める学生像

- 農山村の自然空間を重視した生物の生存環境の維持・保全、地域社会のあり方などの問題解決に意欲のある人
- 土や水に関する農業土木技術を生かし、農業生産基盤の整備や地域づくりに意欲のある人

3 入学前に身に付けておいてほしいこと

高校の教科全般の基礎学力を持ち、特に数学、理科系の科目を意欲的に学んでいること

2 AO入試 I 募集人員

実 施 学 部 等		募集人員
人文社会科学部	文 化 創 生 課 程	15
	社 会 経 営 課 程	20
	計	35
教 育 学 部	学 校 教 育 教 員 養 成 課 程 特 別 支 援 教 育 専 攻	5
	養 護 教 諭 養 成 課 程	5
	計	10
理 工 学 部	数 物 科 学 科	11
	物 質 創 成 化 学 科	6
	地 球 環 境 防 災 学 科	10
	電 子 情 報 工 学 科	13
	機 械 科 学 科	10
	自 然 エ ネ ル ギ ー 学 科	10
	計	60
農 学 生 命 科 学 部	生 物 学 科	5
	分 子 生 命 科 学 科	6
	食 料 資 源 学 科	7
	国 際 園 芸 農 学 科	12
	地 域 環 境 工 学 科	5
	計	35
合 計		140

注) AO入試 I の合格者が募集人員に満たない場合は、その不足した人員を前期日程の募集人員に加えます。

3 出願期間

志 願 学 部	出 願 期 間
人 文 社 会 学 部	平成28年10月25日(火) ～平成28年10月31日(月) 午後5時必着 持参の場合は、平日9:00から17:00まで受付します。 なお、郵送、持参ともに出願期間最終日の午後5時以降に到着したものは受理しません。
教 育 学 部	
農 学 生 命 学 部	
理 工 学 部	平成28年10月7日(金) ～平成28年10月14日(金) 午後5時必着 持参の場合は、平日9:00から17:00まで受付します。 なお、郵送、持参ともに出願期間最終日の午後5時以降に到着したものは受理しません。

4 出願書類等

提出書類等		摘 要
志願者全員	志願票	本人が記入して下さい。
	写真票	写真貼付欄には、出願前3ヶ月以内に撮影した無帽上半身のもの(タテ4cm×ヨコ3cm)を貼り付けて下さい。
	受験票	
	「振替払込受付証明書(大学提出用)」貼付台紙	<p>検定料17,000円を、別添の「払込取扱票」を用いて、最寄りの郵便局・ゆうちょ銀行から払い込んで下さい。</p> <p>払い込み済みの「振替払込受付証明書(大学提出用)」を添付様式の貼付台紙に貼り付けて提出して下さい。</p> <p>なお、払込期間は、別添の「払込取扱票」に記載のとおりです。</p> <p>(注意) 払い込み済みの検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 検定料を払い込んだが出願書類を提出しなかった場合 2. 検定料を払い込んだが出願書類が受理されなかった場合 3. 誤って検定料を二重に払い込んだ場合 4. 第1次選抜(理工学部)の結果、不合格となった場合 <p>上記1～3の場合は、速やかに弘前大学学務部入試課までお問合せください。4の第1次選抜不合格者に対しては、13,000円を返還します。返還手続に必要な書類は、第1次選抜結果の通知とともに送付します。</p>
	調査書	<p>所定の様式により、出身学校長が作成し、厳封したものを提出して下さい。</p> <p>調査書を提出できないものは、事前に学務部入試課に問合せください。</p>
	あて名票	<p>要項に添付の「あて名票1(理工学部志願者のみ)」、「あて名票2(全志願者記入)」は、必ず記入して下さい。あて名票3-A、3-Bは、30ページの「2. 第三者への提供」に同意する場合のみ記入して下さい。</p>
受験票返送用封筒	<p>添付の封筒に、志願者本人の住所・氏名を明記し、切手362円分を貼り付けてください。</p>	
人文社会科学部 志願者	学習計画書	所定の様式により提出して下さい。
	検定試験関係書類(社会経営課程の該当する者のみ提出)	<p>次の検定試験の等級を証明する書類の写し</p> <p>日本商工会議所主催簿記検定試験2級 公益財団法人全国商業高等学校協会主催簿記実務検定試験1級 独立行政法人情報処理推進機構主催基本情報技術者試験 公益財団法人全国商業高等学校協会主催情報処理検定試験1級</p>
教育学部 志願者	自己PR書	<p>志望理由を含めた自己PR書を、任意のA4サイズ用紙(片面1枚)に各自で自由に作成して下さい。</p>
	活動報告書	<p>学校・家庭・地域での体験を踏まえた活動報告書を、任意のA4サイズ用紙(片面1枚)に各自で自由に作成して下さい。</p>
理工学部 志願者	自己推薦書	所定の様式により提出して下さい。
	志望理由書	所定の様式により提出して下さい。
農科 志願者 生命科学部	自己PR書	所定の様式により提出して下さい。

5 出願上の注意

1. 出願書類に、次のような不備があるものは受理しません。
 - (1) 志願票等に記入漏れ、誤記のあるもの
 - (2) 「振替払込受付証明書（大学提出用）」が貼付されていないもの
 - (3) 必要な証明書等が添付されていないもの
 2. 提出した出願書類等の記載内容の変更は認めません。
 3. 提出した出願書類等に虚偽の申告があった場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。
 4. 提出した出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。
 5. 出願書類等の提出後、受信場所を変更した場合は、直ちに出願書類提出先に連絡してください。
 6. 障がい等のある入学志願者との事前相談について
病気・負傷や障がい等のある入学志願者のうち、受験上及び修学上特別の配慮を必要とする方は、出願の前に、あらかじめ本学に申し出てください。
 - (1) 事前相談の申し出期限
平成28年9月23日(金)まで
 - (2) 連絡先
〒036-8560 青森県弘前市文京町1番地
弘前大学学務部入試課
電話 0172(39)3122
 7. AO入試I合格者に係る入学前教育の実施、大学入試センター試験の任意受験について
 - (1) 入学前教育の実施について
AO入試I合格者の全員を対象に、民間事業者と連携した入学前教育を実施します。詳細は合格発表後の合格通知書送付時に同封しますが、郵送されるテキストの課題に取り組み、最終的には確認用のテストを受けていただく予定です（受講料は本学が負担）。
 - (2) 大学入試センター試験の任意受験について
AO入試Iでは、大学入試センター試験は課しません（選抜の際の点数化もしませんし、受験資格の位置づけでもありません）が、合格後、入学までの期間の勉強意欲継続のため、また高校時点での基礎学力を把握し入学後のフォローに活用するため、大学入試センター試験の任意受験を推奨しています（検定料は本人負担）。
特に『英語』については、提供いただいた成績をもとに、入学後のクラス分けに活用する予定ですので、すべての学部で設定しています（リスニングも含まれます）。
- 手続
- 予め大学入試センター試験の出願を行ってください。（最低限受験してほしい科目は学部・学科等ごとに異なりますので、次のページの表により確認してください）
 - 本学へのAO入試I出願時には、志願票に、大学入試センター試験に実際に出願した科目を全て記入してください。
 - AO入試I合格者は、12月中旬に大学入試センターから【AO】平成29センター試験成績請求票国公立AO入試用】が届いたら、添付の封筒に入れ、切手392円分を貼り、受験番号、郵便番号、住所及び氏名を記入し、平成28年12月22日(木)17:00必着で郵送してください。

平成29年度 AO入試 I 合格者に対する大学入試センター試験任意受験科目一覧

学部・学科等名	センター試験の出題教科・科目	国語	地理歴史						公民				数学①		数学②				理科								英語(リスニング含む)	備考		
			世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	地理A	地理B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理・政治・経済	数学I	数学II	簿記・会計	情報関係基礎	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理学	化学	生物	地学						
人文社会科学部	文化創生課程	◎ 1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎ 1	6教科 7又は 8科目 ※一般入試と同様
	社会経営課程	◎ 1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎ 1	6教科 7又は 8科目 ※一般入試と同様
教育学部	学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻	◎ 1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎ 1	5教科 7科目から 6教科 8科目 ※一般入試と同様
	養護教諭養成課程	◎ 1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎ 1	5教科 7科目から 6教科 8科目 ※一般入試と同様
理工学部	数物科学科	◎ 1											○	○	○	○	○	○	○	○								◎ 1	2教科 3科目	
	物質創成化学科	◎ 1											○	○	○	○	○	○	○	○								◎ 1	2教科 3科目	
	地球環境防災学科	◎ 1											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎ 1	2教科2 又は3科目	
	電子情報工学科	◎ 1											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎ 1	3教科3 又は4科目	
	機械科学科	◎ 1											○	○	○	○	○	○	○	○								◎ 1	2教科 3科目	
	自然エネルギー学科	◎ 1											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎ 1	3教科3 又は4科目	
農学生命学部	生物学科	◎ 1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎ 1	5教科7 又は8科目 ※一般入試と同様	
	分子生命科学科	◎ 1											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎ 1	3教科4 又は5科目	
	食料資源学科	◎ 1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎ 1	5教科7 又は8科目 ※一般入試と同様	
	国際園芸農学科	◎ 1											○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◎ 1	4教科4 又は5科目	
	地域環境工学科	◎ 1											○	○	○	○	○	○	○	○								◎ 1	2教科 2科目	

- 注意：1. この表は、AO入試 I の合格者が任意で大学入試センター試験を受験する際、当該各学部・学科等における共通科目として最低限受験してほしい科目を学部学科等毎に示す。
- 注意：2. 学部・学科によっては高等学校の多様性に配慮して少なめの科目設定としているが、あくまで共通の下限設定なので、大学入試センター試験の出願時に実際に登録した科目を本学へのAO入試 I 出願時にすべて記入し、そのまま受験すること。
- 注意：3. ◎印はそのまま受験し、○印はグループ内から選択して受験する科目を示す。
- 注意：4. □囲みの数字は受験科目数を示す。
- 注意：5. 英語については、リスニングも受験すること。

6 学部ごとの出願要件・選抜方法等

I. 人文社会科学部

1. 趣 旨

AO入試Iは、自己推薦に基づき、大学入試センター試験及び個別学力検査を免除して選抜を行います。

ただし、合格後に任意で大学入試センター試験を受験することを推奨しています。

(詳しくは12ページ「7. AO入試Iの合格者に係る入学前教育の実施、大学入試センター試験の任意受験について」で確認願います。)

2. 課程及び募集人員

課 程	募集人員
文化創生課程	15人
社会経営課程	20人

3. 対象となる高等学校等の範囲

全国の高等学校若しくは中等教育学校

4. 出願の要件

次の要件を備え、合格した場合は入学することを確約できる者

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成23年4月以降に卒業した者及び平成29年3月卒業見込みの者
- (2) 人物、学力ともに優れ、高等学校等における調査書の全体の評定平均値が【表1】の要件を満たす者

【表1】

課 程	高 等 学 校 等 の 学 科		全体の評定平均値
文化創生課程			調査書の全体の評定平均値が4.0以上の者
社会経営課程	A	商業に関する高等学校、商業又は情報処理に関する学科、総合学科（商業又は情報の単位を20単位以上修得した者）※1）※2）	
	B	上記を含む全ての学科	

※1）社会経営課程では、募集人員20人のうち上記Aの中から、5人の合格者を予定している。

※2）Aで出願する場合は、次の資格試験のいずれかに合格していること。

- ・日本商工会議所主催簿記検定試験2級
- ・公益財団法人全国商業高等学校協会主催簿記実務検定試験1級
- ・独立行政法人情報処理推進機構主催基本情報技術者試験
- ・公益財団法人全国商業高等学校協会主催情報処理検定試験1級

5. 出願時注意事項

志願者は、添付の様式により、学習計画書を提出すること。

6. 選抜方法

個人面接，小論文，学習計画書・調査書の採点結果を総合して行います。

(1) 試験実施日時及び試験場

試験実施日	試験科目	時間	試験場
平成28年11月19日(土)	小論文	10:30～12:00	弘前大学 総合教育棟
	個人面接	13:00～	

(2) 小論文の出題形式

一つのテーマについて論述させる。(制限字数800字)

(3) 面接の方法

個人面接方式(受験者は学習計画書の内容を踏まえて5分から10分以内で口頭発表し，それに基づいて複数の教員により質疑応答を行う)

1人当たり20分程度とする。(口頭発表を含む)

(4) 配点

課程	個人面接	小論文	学習計画書 調査書	合計
文化創生課程	200	200	200	600
社会経営課程				

II. 教育学部

1. 趣 旨

AO入試Ⅰは、大学入試センター試験及び個別学力検査を免除して選抜を行います。
ただし、合格後に任意で大学入試センター試験を受験することを推奨しています。
(詳しくは12ページ「7. AO入試Ⅰの合格者に係る入学前教育の実施、大学入試センター試験の任意受験について」で確認願います。)

2. 課程及び募集人員

課程・専攻	募集人員
学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻	5人
養護教諭養成課程	5人

3. 対象となる高等学校等の範囲

全国の高等学校若しくは中等教育学校

4. 出願の要件

次の要件を備え、合格した場合は入学することを確約できる者

1. 弘前大学教育学部での勉学を強く希望する者
2. 本課程または専攻のアドミッション・ポリシーを十分理解し、本課程または専攻への志望動機が明確である者
3. 高等学校若しくは中等教育学校を平成23年4月以降に卒業した者及び平成29年3月に卒業見込みの者

5. 選抜方法

以下の試験並びに出願書類（調査書，自己PR書，活動報告書）の結果を総合した評価により選抜を行います。

(1) 試験実施日時及び試験場

試験日	試験科目	時間	試験場
平成28年11月19日(土)	集団討論	9:00～16:00	弘前大学 教育学部
平成28年11月20日(日)	個人面接	9:00～16:00	

(2) 集団討論の方法

本課程または専攻分野のテーマに関して受験生同士で討論をさせる。

(3) 個人面接の方法

複数の教員で志望理由，適性，意欲，関心を受験者一人ずつに問う個人面接を行う。
(口頭試問を含む)

学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻においては，ロールプレイやプレゼンテーション等を含むことがある。

(4) 配点

課程・専攻	出願書類	集団討論	個人面接	合計
学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻	100	200	200	500
養護教諭養成課程	100	200	200	500

Ⅲ. 理工学部

1. 趣 旨

AO入試Ⅰは、全学科で大学入試センター試験及び個別学力検査を免除して選抜を行います。

ただし、合格後に任意で大学入試センター試験を受験することを推奨しています。

(詳しくは12ページ「7. AO入試Ⅰの合格者に係る入学前教育の実施, 大学入試センター試験の任意受験について」で確認願います。)

2. 学科及び募集人員

学 科	募集人員
数 物 科 学 科	11 人
物 質 創 成 化 学 科	6 人
地 球 環 境 防 災 学 科	10 人
電 子 情 報 工 学 科	13 人 (※1)
機 械 科 学 科	10 人 (※2)
自然エネルギー学科	10 人

※1) 電子情報工学科では、「高等学校等の工業又は商業に関する学科 (高等専門学校の学科を含む) 及び総合学科」から、合わせて5人以上の合格者を予定しています。

※2) 機械科学科では、「高等学校等の工業に関する学科 (高等専門学校の学科を含む)」から、2人程度の合格者を予定しています。

3. 対象となる高等学校等の範囲

全国の高等学校若しくは中等教育学校又は高等専門学校

4. 出願の要件

次の要件を備え、合格した場合は入学することを確約できる者

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を平成23年4月以降に卒業した者及び平成29年3月卒業見込みの者又は高等専門学校3年次を平成29年3月修了見込みの者
- (2) 人物が優れ、志願する学科の教育・研究内容に強い興味があり、自発的学習意欲と問題解決のための思考力及び資質を有し、かつ十分な基礎学力を有する者

5. 選抜方法

第1次選抜及び第2次選抜の結果を総合して行います。

第1次選抜

出願書類 (志望理由書, 自己推薦書, 調査書) により選抜を行います。

募集人員の3倍程度を第1次選抜の合格者とします。なお、出願者数により、全員を第1次選抜合格者とする場合があります。

配点 志望理由書 25点, 自己推薦書 25点, 調査書 50点 計100点

第2次選抜

第1次選抜の合格者に対して、簡単な講義あるいは実験の実施とその内容に関するレポート及びレポート内容を含めた個人面接（基礎学力に関する試問を含む）に対する得点並びに第1次選抜の得点を総合した評価により選抜を行います。

(1) 試験実施日時及び試験場等

試験日	試験科目	時間	試験場
平成28年11月20日(日)	講義あるいは実験及びその内容に関するレポート	9:00～12:00(※)	弘前大学 理工学部
	個人面接	13:00～17:00(※)	

(※) 試験終了時間は予定より早くなる場合があります。

(2) 試験実施方法等

学 科	摘 要
数 物 科 学 科	<ul style="list-style-type: none"> 講義及びその内容に関するレポート 広い意味で数学に関係する講義を聞いて、講義において指示された課題に関するレポートを作成する。レポートは、講義の理解度、論理的思考力及び表現力の評価を目的とするものである。 個人面接（基礎学力に関する試問を含む） 複数の教員で受験者1人ずつの面接を行う。 1人当たり15分～20分程度とする。
物 質 創 成 化 学 科	<ul style="list-style-type: none"> 講義あるいは演示実験及びその内容に関するレポート 化学に関する講義あるいは演示実験を受けて、講義あるいは演示実験において指示された課題に関するレポートを作成する。レポートは、講義あるいは演示実験の理解度や論理的思考力を評価するものであり、単に高等学校化学についての学力を問うものではない。 個人面接（基礎学力に関する試問を含む） 複数の教員で受験者1人ずつの面接を行う。 1人当たり15分～20分程度とする。
地 球 環 境 防 災 学 科	<ul style="list-style-type: none"> 講義及びその内容に関するレポート 広い意味で地球の環境や防災に関係する講義を聞いて、講義において指示された課題に関するレポートを作成する。レポートは、講義の理解度や論理的思考力を評価するものであり、単に高等学校理科の科目についての学力を見るものではない。 個人面接（基礎学力に関する試問を含む） 複数の教員で受験者1人ずつの面接を行う。 1人当たり15分～20分程度とする。
電 子 情 報 工 学 科	<ul style="list-style-type: none"> 講義及びその内容に関するレポート エレクトロニクスや情報技術（IT）に関する初歩的な講義を聞いて、講義において指示された課題に関するレポートを作成する。レポートは、講義の理解度や論理的思考力を評価するものであり、単に高等学校で学んだ知識を問うものではない。 個人面接（基礎学力に関する試問を含む） 複数の教員で受験者1人ずつの面接を行う。 1人当たり15分～20分程度とする。

機 械 科 学 科	<ul style="list-style-type: none"> 講義及びその内容に関するレポート 機械の基礎となる理科に関する講義を聞いて、講義において指示された課題に関するレポートを作成する。レポートは、講義の理解度や論理的思考力を評価するものであり、単に高等学校理科の科目についての学力を見るものではない。 個人面接（基礎学力に関する試問を含む） 複数の教員で受験者1人ずつの面接を行う。 1人当たり15分～20分程度とする。
自然エネルギー学科	<ul style="list-style-type: none"> 講義及びその内容に関するレポート エネルギーと環境問題への理解を深めることを目的とした模擬授業を行い、受講後には講義内容の理解度や思考力に関するレポート作成を行う。 個人面接（基礎学力に関する試問を含む） 複数の教員で受験者1人ずつの面接を行う。 1人当たり15分～20分程度とする。

(3) 配点

学 科	第1次選抜	講義・実験 及びレポート	個人面接	合計
数 物 科 学 科	100	200	200	500
物 質 創 成 化 学 科				
地 球 環 境 防 災 学 科				
電 子 情 報 工 学 科				
機 械 科 学 科				
自 然 エ ネ ル ギ ー 学 科				

6. 第1次選抜の結果について

- (1) 第1次選抜の結果は、平成28年10月27日(木)に郵送により通知します。電話、メール等での可否に関するお問合せには応じません。
- (2) 志願者全員に「第1次選抜試験結果通知書」を送付するとともに、合格者には「弘前大学受験票」を、不合格者には「入学検定料返還手続書類」を速達郵便で送付します。
なお、第1次選抜の結果通知が平成28年11月4日(金)を過ぎても届かない場合は、入試課へお問合せください。

IV. 農学生命科学部

1. 趣 旨

AO入試Iは、大学入試センター試験及び個別学力検査を免除して選抜を行います。ただし、合格後に任意で大学入試センター試験を受験することを推奨しています。（詳しくは12ページ「7. AO入試Iの合格者に係る入学前教育の実施、大学入試センター試験の任意受験について」で確認願います。）

2. 学科及び募集人員

学 科	募集人員
生 物 学 科	5 人
分 子 生 命 学 科	6 人
食 料 資 源 学 科	7 人
国際園芸農学科（※1）	12 人（※2）
地 域 環 境 工 学 科	5 人

※1) 国際園芸農学科において、2年次に1週間程度の「海外研修入門（必修）」を行います。実習経費のうち、往復旅費、宿泊料等については本学の規定の範囲内で大学負担しますが、諸経費等は個人負担となります。詳細については、入学後のオリエンテーションにおいて説明します。

なお、その他の学科においては選択科目となりますが、成績や学習意欲等に基づく面接により各学科5人を上限として、同様の経費負担で履修することができます。

※2) 国際園芸農学科では、募集人員12人のうち、高等学校等の農業、林業、水産、工業、商業、情報に関する学科から4人程度の合格者を予定しています。

3. 対象となる高等学校等の範囲

次の学科又は課程を有する全国の高等学校若しくは中等教育学校

○生物学科，分子生命科学科，食料資源学科，地域環境工学科

農業，林業，水産，工業，情報に関する学科，又は普通科，理数科，総合学科に関する課程

○国際園芸農学科

農業，林業，水産，工業，商業，情報に関する学科，又は普通科，理数科，総合学科に関する課程

4. 出願の要件

次の要件を備え、合格した場合は入学することを確約できる者

上記の学科又は課程を有する高等学校若しくは中等教育学校を平成23年4月以降に卒業した者及び平成29年3月卒業見込みの者

5. 選抜方法

小論文, 面接, 自己PR書及び調査書の結果を総合して行います。

(1) 試験実施日時及び試験場

試験実施日	試験科目	時間	試験場
平成28年11月20日(日)	小論文	10:30 ~ 11:30	弘前大学 総合教育棟
	面接	13:00 ~	

(2) 小論文の出題形式

いくつかのテーマについて論述させる。(制限字数800字) 60分

(3) 面接の方法

個人面接方式(基礎学力に関する試問を含む)

複数の教員で受験者1人ずつの面接を行う。

受験者1人当たり20分程度とする。

(4) 配点

学 科	小論文	面接	自己PR書 調査書	合計
生 物 学 科	100	100	100	300
分子生命科学科				
食料資源学科				
国際園芸農学科				
地域環境工学科				

V. 採点・評価基準，合否判定基準

<p style="text-align: center;">人 文 社 会 科 学 部</p>	<p>個人面接，小論文，学習計画書・調査書の採点結果を総合して行うが，次のとおり点数化して評価する。</p> <p style="text-align: center;">個人面接 200点，小論文 200点，学習計画書・調査書 200点 合計 600点</p> <p>基準1 順位は個人面接，小論文，学習計画書・調査書の合計点の高い順とする。 基準2 「基準1」により同点者が複数いる場合は，個人面接の得点の高い者を上位とする。 基準3 「基準2」により同点者が複数いる場合は，小論文の得点の高い者を上位とする。</p> <p>(個人面接) アドミッション・ポリシーを念頭に，志望課程への関心と意欲，大学での学習計画と将来への見通し，コミュニケーション能力等を客観的に評価し，複数の教員により点数化する。</p> <p>(小論文) 課題について自分の考えを的確に述べていること，論旨が明確であること，日本語の文章として適切であること等を総合的に評価し，点数化する。</p> <p>(学習計画書) 自己PR，志望理由と学習計画，将来の進路希望の内容をもとに点数化する。</p> <p>(調査書) 高校時代の活動をもとに点数化する。</p>
<p style="text-align: center;">教 育 学 部</p>	<p>出願書類（調査書，志望理由を含めた自己PR書，学校・家庭・地域での体験を踏まえた活動報告書），集団討論及び個人面接について，志望課程・専攻への動機・興味・関心・意欲・資質等を総合的に評価する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 合格者は，出願書類，集団討論及び個人面接の合計点の高い順に決定する。 2. 1の合計点が同一の場合は，集団討論，個人面接の順序で点数の高い者を上位者とする。 <p>(集団討論)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻 特別支援教育や障害に関するテーマについて，集団で討議し，理解力，表現力，コミュニケーション能力などについて審査する。 • 養護教諭養成課程 養護教諭や子どもたちの健康に関するテーマについて，集団で討議し，理解力，表現力，コミュニケーション能力などについて審査する。 <p>(個人面接)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻 志望動機や適性等について審査する。 • 養護教諭養成課程 志望動機や適性等について審査する。

理 工 学 部	<p>1. 合格者は、第1次選抜と第2次選抜の得点による結果を総合して評価し、その合計点の高い順に決定する。</p> <p>2. 講義あるいは実験及びその内容に関するレポートでは、理工系で学ぶための論理的思考力・適応力を複数の教員で評価し、点数化する。</p> <p>3. 面接は、志望学部・学科への興味・関心・意欲、基礎学力及び論理的思考力・適応力を複数の教員で評価し、点数化する。</p> <p>4. 調査書については、記載事項のすべてを評価の対象とする。</p> <p>5. 合格点が同一の場合、講義あるいは実験及びその内容に関するレポート、面接、第1次選抜の得点の順序で点数の高い者を上位者とする。</p>
農 学 生 命 科 学 部	<p>小論文、面接、自己PR書及び調査書を、次のとおり点数化して評価する。</p> <p>小論文 100点、面接 100点、自己PR書及び調査書 100点 合計 300点</p> <p>1. 合格者は、小論文、面接、自己PR書及び調査書の合計点の高い順に決定する。</p> <p>2. 1の合計得点が同一の場合は、小論文、面接の順序で点数の高い者を上位者とする。</p> <p>(小論文) 大学で学ぶために必要な基礎的学力と論理的思考力、記述能力を複数の教員により点数化し、平均点を得点とする。</p> <p>(面接) 基礎的学力、志望学部・学科への興味・関心・意欲・適性を評価し、複数の教員により点数化し、平均点を得点とする。</p>

7 合格者の発表

合格発表日	志願学部
平成28年11月28日(月) 午後2時(予定)	人文社会科学部
	教育学部
	理工学部
	農学生命科学部

1. 合格者の受験番号は、本学大学会館前掲示場に発表するとともに、本人に通知します。また、次のアドレス(URL) <http://daigaku.jc.jp/hirosaki-u/> (携帯電話及びパソコン) から確認することができます(通信料は各自の負担となります)。

なお、電話等による合否の問合せには一切応じません。

2. 合格者には、合格発表後速やかに「あて名票2」に記載されたあて先に合格通知書及び入学手続書類を速達郵便で送付します。

12月5日(月)を過ぎても書類が届かない場合は、入試課へ問合せ願います。

8 入学手続

1. 入学手続の方法

入学試験に合格した者は、郵送又は持参により、入学手続を行ってください。

期日に手続を完了しない者は、入学を辞退したものとして取り扱います。

郵送 の場合	平成29年2月7日(火) から平成29年2月13日(月) 午後5時までに到着するように、必要書類一式を「書留速達」で郵送してください。 〔 郵送先 〕：弘前大学学務部入試課
持参 の場合	入学手続日時 ：平成29年2月14日(火) 午前9時～午後4時 ※手続会場については、合格通知書送付の際にお知らせします。

2. 入学手続の際に提出・納付するもの

入学手続の際には、以下のものが必要になります。

詳細は合格通知書送付の際にお知らせします。

(1) 合格通知書	合格発表時に送付します。
(2) 宣誓書	合格通知の際に、本学所定用紙を送付します。 2人分の印鑑（本人と保証人の分）が必要になります。
(3) 保証書	
(4) 入学料 282,000円（予定）	合格通知の際に、本学所定の振込用紙を送付します。銀行窓口での納付となります。

※授業料は、年額535,800円（前期分267,900円 後期分267,900円）（予定）になります。納付期限は、前期分4月30日、後期分10月31日となっておりますが、本学では、前期分授業料を入学手続時に納付いただくようお願いしております。（前・後期分の一括納付もできます。）
なお、授業料については、上記「(5) 入学料」と併せて、本学所定の振込用紙により納付できます。

※入学時までに入学金及び授業料が改定された場合は、それぞれ改定後の額となります。また、在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

※入学料及び授業料の免除・徴収猶予を希望する者は、事前に申請用紙を取り寄せたうえで、入学手続までに書類を準備する必要があります。詳しくは次ページの「**9 入学料及び授業料の免除・徴収猶予を希望される方へのお知らせ**」をご覧ください。

3. 入学手続に関する注意事項

① AO入試I合格者は、本学に入学しなければなりません。もし、特別な事情によって入学辞退の必要が生じた場合には、入学手続日までに辞退の手続をして、本学の許可を得なければなりません。

AO入試I合格者が、入学手続を行わず、辞退の手続も行っていない場合は、その後本学及び他の国公立大学の一般入試（前期日程・後期日程）を受験しても合格者となることはできませんのでご留意願います。詳細は学務部入試課までお問合せください。

② 納付済みの入学料については、いかなる理由があっても返還しません。

③ 納付済みの授業料については、平成29年3月31日（金）午後5時までに入学を辞退した者に限り、当該授業料相当額を返還します。

9 入学料及び授業料の免除・徴収猶予を希望される方へのお知らせ

入学料及び授業料については免除・徴収猶予制度があります。

①「入学料」 免除・徴収猶予	入学前1年以内において、学資負担者が死亡し、又は風水害等の災害を受けた場合などの 特別な事情 により、入学料の納付が著しく困難な場合は、本人の申請に基づき選考の上、入学料免除（半額）・徴収猶予（延納）を許可されることがあります。
②「授業料」 免除・徴収猶予	経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる場合は、本人の申請に基づき選考の上、授業料免除（全額又は半額）・徴収猶予（延納又は月割分納）を許可されることがあります。

合格発表から入学手続日までの期間が短い場合、免除・徴収猶予を希望する者は、あらかじめ（合格発表前であっても）申請書類を請求し、記入した申請書類に同一生計者の所得証明書をはじめとする必要書類を添えて、入学手続時に申請してください。

入学料免除は上記①で示した特別な事情（①に準ずる場合で、学長が相当と認める理由がある場合を含む）がない場合は申請しても許可されません。ただし、徴収猶予の申請は可能です。

◆郵送による申請書類の請求

請求する封筒の表に「入学料免除等申請書類請求」又は「授業料免除等申請書類請求」と朱書きし「**角形2号の返信用封筒**」及び「**受験者氏名、志願学部学科、連絡先電話番号（携帯電話番号可）**」を明記したメモを同封の上、送付してください。

(1) 返信用封筒には「宛先（受験者の住所・氏名）」を記入し、205円分（速達の場合は485円分）の切手を貼ってください。ただし、入学料と授業料の両方の免除等申請書類を請求する場合は、250円分（速達の場合は530円分）の切手になります。

(2) 入学料免除等・授業料免除等申請書類請求期間

平成29年1月20日～

※入学料免除等申請書類の提出期限は入学手続日ですので、早めに請求してください。

◆窓口での申請書類の受取

平成29年1月20日から学生課窓口でも配布します。できるだけ受験者本人が受け取るようお願いします。窓口では受験者であることを申し出てください。

受験者氏名、志願学部、連絡先電話番号の記入及び入学料免除申請の場合は特別事由について記入が必要です。

◆申請書類の請求先（問合せもこちらまで）

〒036-8560 青森県弘前市文京町1 弘前大学学務部学生課 生活支援グループ
電話：0172 (39) 3117
時間：平日 9:00～17:00（ただし、平成29年2月24日、3月10日を除く。）

※申請書類の窓口配布は文京町地区の「学務部学生課」のみで行います。

※平成29年2月24日、3月10日は個別学力検査の準備のため不在となります。

窓口での申請書類受取及び電話照会ができませんので注意してください。

10 学生寮への入寮を希望される方へのお知らせ

入寮を希望する場合は、事前に「入寮希望調書」等を提出する必要があります。

以下の方法により必要書類を取り寄せ、期日までに提出してください（受験区分によっては、入学試験日・合格発表日よりも前に受付期間が設けられている場合がありますので、ご注意ください）。

〔1〕 必要書類の請求方法

① 郵送により請求する場合

- 往信用封筒の表に「入寮案内請求」と朱書きしてください。
- 往信用封筒の裏に「住所」、「氏名」、「性別」を記入してください。
- 返信用封筒（長形3号、返信先住所・宛名記入、切手92円分貼付）を同封してください。

② 弘前大学ホームページから取得する場合

- 所定の様式等をダウンロードしてください。

③ 入寮案内等の発送並びにダウンロード開始は、平成28年11月21日（月）からです。

〔2〕 資料の請求先（入寮に関するお問合せもこちらまで）

〒036-8560 青森県弘前市文京町1 弘前大学学務部学生課 学生支援グループ 電話 0172 (39) 3107・3115
--

〔3〕 入寮希望調書等の受付期間（最終日17時必着）

平成28年12月1日（木）～平成28年12月14日（水）

11 合格しなかった場合の取扱い

A O入試 I に合格しなかった者が、一般入試の受験を希望する場合は、「前期日程」から一つ、「後期日程」から一つの合計二つの国公立大学・学部に出願することができます。

出願にあたっては、各大学・学部等により大学入試センター試験の受験を要する教科・科目が異なる場合がありますので特に注意してください。

本学に出願する場合は、別途「平成29年度学生募集要項（一般入試）」（11月下旬配布開始予定）を取り寄せ、それにより所定の出願書類等を提出してください。

12 入学試験個人成績の開示

平成29年度入学試験実施結果を以下のように開示します。

	大学入試センター試験	個別学力検査	調査書
開示の対象となる成績情報等	大学入試センター試験の結果に関しては、選考で使用した傾斜配点後の得点を科目別に公表します。	個別学力検査結果に関しては、試験科目毎に得点を開示します。 なお、得点調整が行われた場合は調整後の点数で開示します。	「7. 指導上参考となる諸事項」「8. 総合的な学習の時間の内容・評価」「9. 備考」欄を除いた調査書を開示します。
申請・開示する場所	弘前大学学務部入試課		
開示期間	平成29年5月8日(月) から6月9日(金) までの期間に土曜・日曜・祝日を除いて開示します。なお、開示時間は9:00～17:00までとします。		
開示方法	大学入試センター試験及び個別学力検査の点数については、窓口及び郵送で開示します。なお、調査書については、請求日の2日後以降に窓口閲覧のみの開示とします。		
申請に関して	1. 請求権者は受験者本人とします。 2. 開示の際には受験者本人であることの確認をさせていただきます。 受験者本人の確認は、弘前大学受験票により確認します。弘前大学受験票がない場合は開示できないので注意すること。 3. 郵送での申請方法は平成29年4月以降弘前大学ホームページにてお知らせします。		

13 個人情報の取扱いについて

1. 利用目的

志願者から提出いただきました個人情報は、入学者選抜のほか、次の範囲で利用させていただきます。

- ①入学者の学籍管理及び学生生活支援に関すること。
- ②入学者選抜の改善のための調査・研究に関すること。
- ③その他、教育・研究に関すること。

2. 第三者への提供

入学後の学生生活支援等のため、出願書類のうち「あて名票3-A, 3-B（弘前大学生協用）」を、本学と業務委託契約を締結している弘前大学生協へ提供します。

弘前大学生協では、これを利用して大学生生活案内・教科書教材（教科書販売・パソコン等）・アパート等の情報を掲載した資料を送付します。

この取扱いに同意する場合は、「あて名票3-A, 3-B（弘前大学生協用）」に住所・氏名等を記入し、出願書類と共に提出してください。提出いただけなかった方には当該資料は送付しません。

3. 国公立大学間の情報提供

分離分割方式による合格者及び追加合格者決定業務を円滑に行うため、合否判定及び入学手続等に関する個人情報(氏名及び大学入試センター試験受験番号)を大学入試センター及び併願先(国公立大学)へ提供します。

添 付 様 式 〔A O入試I用〕

	出 願 書 類	所定用紙No.
1	志 願 票	No. 1
2	「振替払込受付証明書（大学提出用）」貼付台紙 受 験 票 写 真 票	No. 2
3	学習計画書（人文社会科学部）	No. 3
4	自己推薦書（理工学部）	No. 4
5	志望理由書（理工学部）	No. 5
6	自己P R書（農学生命科学部）	No. 6
7	払込取扱票・振替払込請求書兼受領証・ 振替払込受付証明書（お客さま用）	No. 7
8	出願用封筒	
9	あて名票	
10	受験票返送用封筒	
11	センター試験成績請求票送付用封筒	

弘前までの交通案内

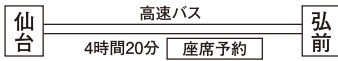
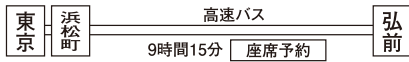
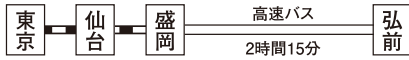
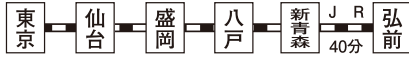
札幌・函館から



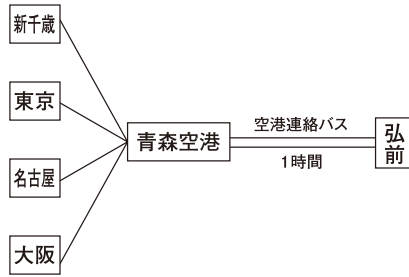
新潟・秋田から



東京・仙台・盛岡・八戸から

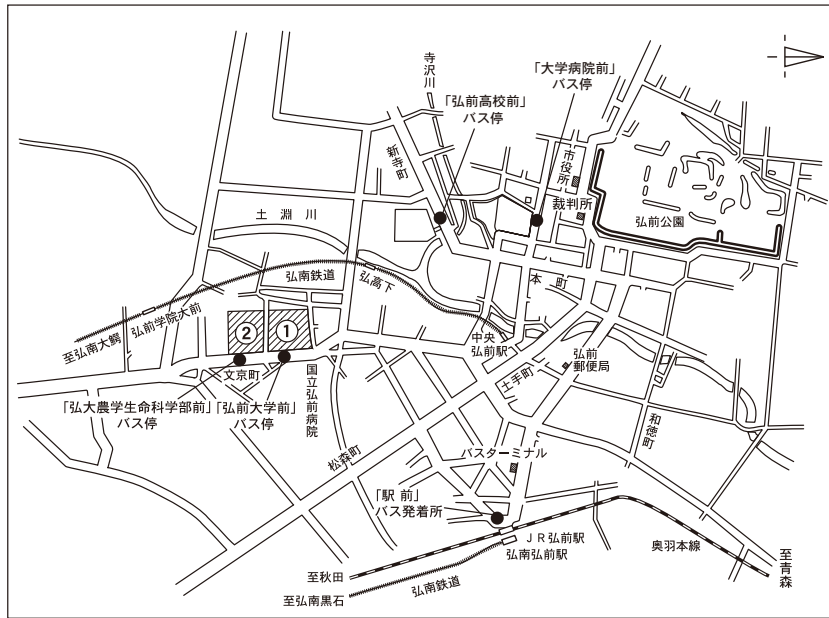


空路



試験場略図 (弘前市内)

- ① 人文社会科学部試験場，教育学部試験場，農学生命科学部試験場
- ② 理工学部試験場



受験についての問合せ先

〒036-8560 青森県弘前市文京町1番地
弘前大学 学務部 入試課
電話 0172 (39) 3122, 3123

弘前大学 入試情報
携帯電話サイト



<http://daigakuic.jp/hirosaki-u/>